

こどもの居場所に関するオンラインアンケート調査について

1. アンケートの概要

調査目的 次期計画における重点事項である「こどもの居場所」に関し、令和5年度に実施した「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」の追加調査として、小学校進学後のこどもの居場所に関するニーズを調査するため実施した。

調査期間 令和6年7月8日（月）～令和6年7月19日（金）

調査対象 公立保育所利用園児の保護者（1,319名）

回答状況 1,151名（87.2%）

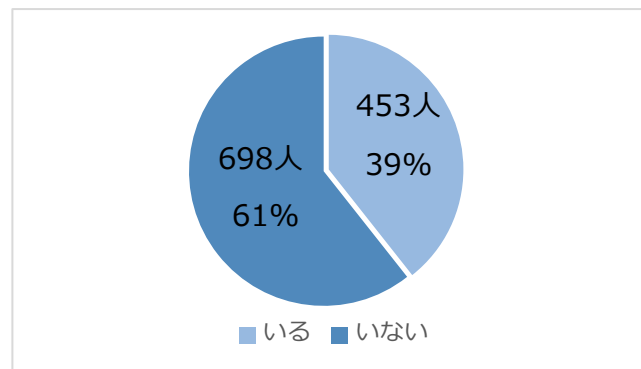
2. アンケート結果

質問1 現在通園中のお子様のほかに小学生以上のお子様はいらっしゃいますか

【回答】

いる 453人

いない 698人



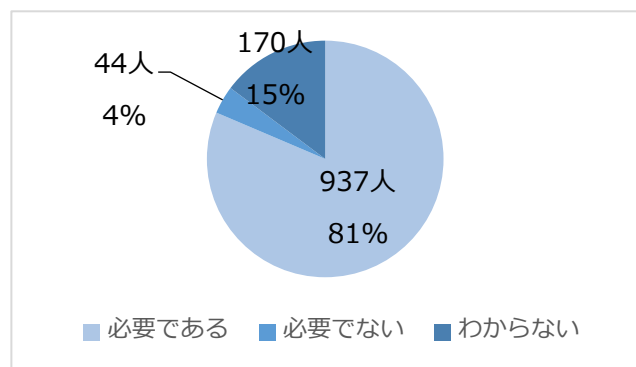
質問2 現在、通園中のお子様が小学校に入学した場合、始業前や放課後に家や学校以外の居場所が必要だと思いますか？

【回答】

必要である 937人

必要でない 44人

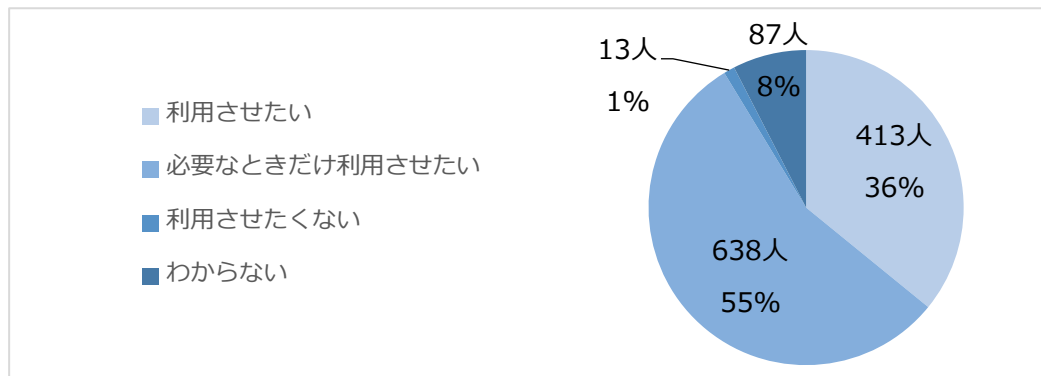
わからない 170人



質問3 身近な公共施設（公民館など）に、放課後に誰でも利用できる居場所があったら、お子様を利用させたいですか？

【回答】

利用させたい	413人
必要な時だけ利用させたい	638人
利用させたくない	13人
わからない	87人



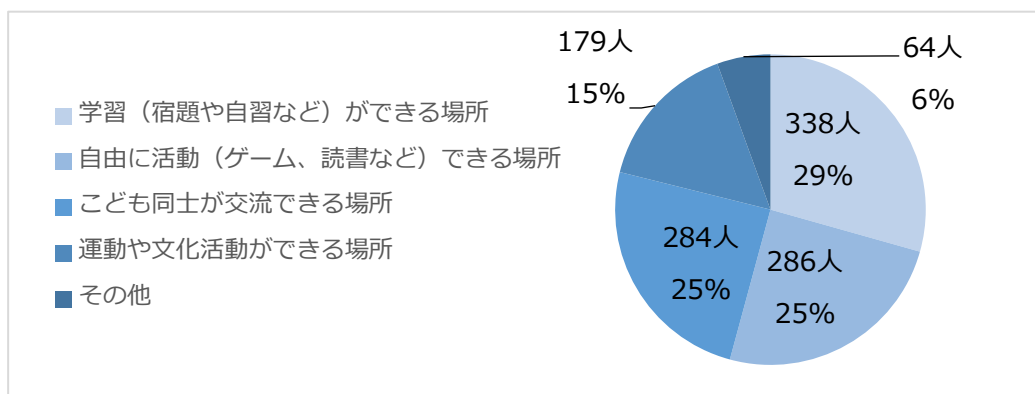
質問4 こどもの居場所として好ましい場所はどのような場所だと思いますか？

【回答】

学習（宿題や自習など）ができる場所	338人
自由に活動（ゲーム、読書など）ができる場所	286人
こども同士が交流できる場所	284人
運動や文化活動ができる場所	179人
その他	64人

※その他として挙げられた主な意見

- ・安全安心（大人の見守り）がある環境
- ・選択肢全ての活動ができる場所
- ・自由な活動ができる場所



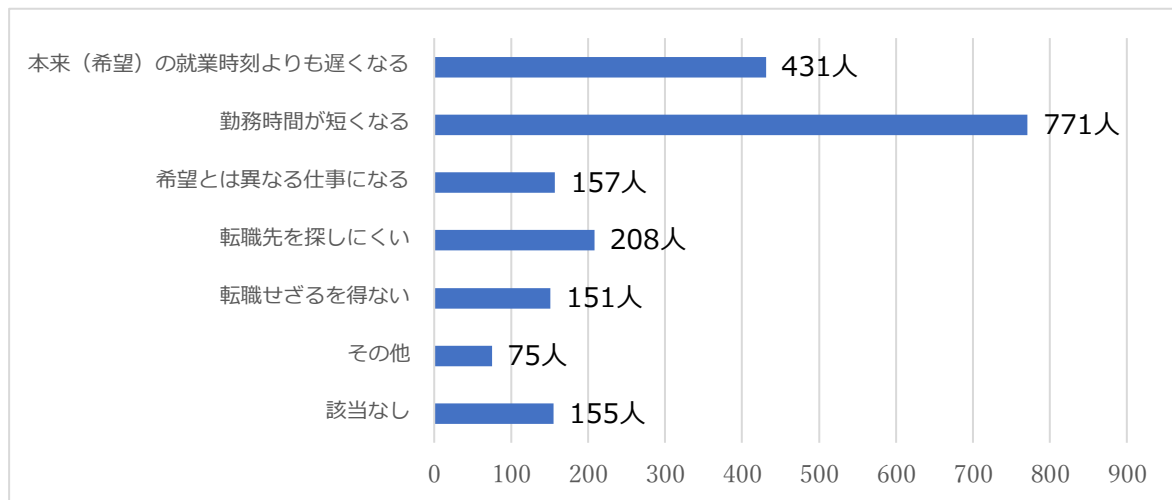
質問5 こども（小学1年生以降）の登下校時刻によって、仕事への影響があると思いますか？（複数回答可）

【回答】

本来（希望）の就業時刻よりも遅く仕事を始めなければならない	431人
勤務時間が短くなる	771人
希望とは異なる内容の仕事（部署で）をしなければならない	157人
転職先を探しにくい	208人
転職せざるを得ない	151人
その他	75人
該当なし	155人

※その他として挙げられた主な意見

- ・休日（祝日、大型連休含む）も仕事があるため影響してしまう。
- ・こどもの送迎で職場に負担をかけているため昇任昇給はあきらめている。
- ・学童に預けることができれば影響なく仕事をする事ができる。



質問 6 始業前、放課後のこどもの居場所についてご意見等があれば自由に記載してください。

以下意見の一部を抜粋

【居場所に関する意見】

- ・身近な公共施設に限定されると、通学予定の学校から距離があるため、利用しにくいのではないかなと思う。
- ・学校からその場所への付き添いがあるか、校内であると安心できる。土日の居場所についても選択肢を増やして欲しい。
- ・地域で、こどもを一緒に見てくれる人や場所があったらいいなと思う。
- ・共働き家庭において、特に放課後のこどもの居場所は重要。公共施設にこどもの居場所を作っていただいたとしてもそこまで子どもだけでいくことは困難であり、送迎付きである必要がある。

【学童に関する意見】

- ・学童保育室が 6 年生まで在籍可なので助かっているが、学童に行かない友達とも学校の校庭などで一緒に遊べると、なお良いと思います。
- ・学童で始業前、放課後見てくださる方が、子どもと先生との信頼関係も深まるし、よく分かってくださるから、同じ場所の方が助かる。
- ・学童保育の時間が 19 時までになると時間に余裕ができて助かる。
- ・学童やそれに近い形態の場所が近隣にどれほどあるのか分からないので、そのような資料が小学校入学前に欲しい。
- ・学童には保護者会があり、保護者の負担が大きいので軽減してほしいです。

【学校に関する意見】

- ・小学 1 年生の帰宅の早さに困っています。もう少し早く通常授業スタートして欲しい。
- ・学校に早めに登校できると助かるが、その皺寄せが教職員に来ては困る。

【その他の意見】

- ・支援学級に在学する生徒に対して、適切な配慮ができる支援員（障害児に対する知識を持っている、研修を受けている）のいる居場所がほしい。
- ・放課後、学校から習い事(スイミングなど)に送迎してもらえると平日に習いごとに通わせてあげられる機会が増えると思う。